

地域で 支援する 長期集団宿泊活動



「実施したいが困難」 —「長期集団宿泊活動」を推進する課題—

国立妙高青少年自然の家では、同所を利用した小学校の教員に調査したところ、約7割の教員が、「長期集団宿泊活動を実施したいが、困難」と回答しています。

その理由として、「教員の負担」が一番多く、次いで、「授業時間数の不足」、「健康安全面が心配」、「金銭面での負担」などを挙げています。

地域みなさんが、 「長期集団宿泊活動」を支援する

「教員の負担」を軽減するためには、地域の方々の協力が必要です。既に、東京都江戸川区や武蔵野市、兵庫県など「長期集団宿泊活動」を実施している地域では、地域の方々や大学生等が教員を補助する活動を行っています。地域の方々へお願いすれば、先生方の安心感も高まります。

Q: 集団宿泊活動を実施する際の課題は何ですか。

A: プログラム立案は教員が行うが、相当の負担になっています。また、活動中は担任を補助し、生活面を指導する者が必要で、現在は、学校ごとに教育実習を行った学生等に依頼するか、区で手配を行っています。

Q: 指導者にはどんな方がよいですか。

A: 学校出発から帰着まで同行できる方、児童との関係づくりということからすると近隣の方が望ましいです。人物の保証が第一ですから、その点でも地域の方にご協力いただくと助かります。

〔江戸川区の小学校長のインタビューより〕

指導者や指導を補助する者の役割

皆さんの知識や技術によって、役割は異なります。例えば、「野外炊事の指導ができる」とか、「木の実を使った工作の指導ができる」といった方は、実際に指導していただくことができます。また、そうした技術はないという方は、指導の補助をお願いすることになります。

そして、食事、入浴、就寝といったあらゆる場面で、先生一人では手がまわらないことを一緒になって指導することも求められています。

「自然体験活動指導者養成研修」で あなたも指導者に!

文部科学省では、小学校が行う自然体験活動を支援するための指導者を養成する研修会を実施しています。この研修会に参加して、指導者に必要な知識や技術を身に付けてください。研修会は全国の青少年教育施設等で開催しています。

詳しくは、こちらのホームページをご覧ください。

<http://www.niye.go.jp/> 青少年機構 検索

National Institution For Youth Education
独立行政法人 国立青少年教育振興機構

トップページ | 青少年機構について | 事業案内 | 施設利用案内

発見 Discovery

最新の記事

- 2010-01-25 報告 青少年の心から
- 2010-01-20 報告 少年教育センターの活動
- 2010-01-18 報告 少年教育センターの活動
- 2010-01-08 報告 少年教育センターの活動
- 2010-01-15 報告 少年教育センターの活動
- 2010-01-15 報告 少年教育センターの活動

青少年教育情報ポータル

- 青少年活動場ガイド
- 青少年団体情報
- 青少年教育センター資料検索
- 事業報告書検索
- 企画事業プログラム事例

職員募集

国立青少年教育振興機構
〒111-0061 東京都中央区千代田7-7-7 1F TEL: 03-3462-7200 (自動音声案内)